

意見の概要および湖東圏域公共交通活性化協議会（事務局：彦根市交通対策課）としての考え方

No	意見の概要	意見数	協議会の考え方
I 障害のある方の交通手段の確保、運賃施策について			
1	<p>福祉サービスとしての移動支援・介護タクシー等の利用はあるものの、訓練施設等への利用や通勤通学には福祉サービスを利用することができない。通勤通学に関しての利便性を高めることができるよう、利用しやすい路線の設定、乗り継ぎ時の料金設定、そもそもの高い料金（バスも鉄道も）設定などに関して、利用促進を図るため方策検討をしてほしい。</p>	1件	<p>ご指摘のとおり、現在の湖東圏域内の公共交通施策は、福祉サービス程のきめ細やかな対応ができておりませんが、本計画では、限られた人的資源の中で、障害の有無にかかわらず、より多くの通勤通学需要に対応したバス路線の再編を検討していくこととしております。（P68、69 他）</p> <p>また、乗り継ぎ運賃の設定について、本計画では、現行の乗継割引の利用実績が少ないことから、利用促進を含めた運賃割引制度のあり方について、引き続き検討をしていくこととしております。（P75、79 他）</p>
2	<p>送迎等を行う障害者施設や高齢者施設と公共交通機関が利便性に関する連携をすることで、もっと有意義な交通網を築くことができるのではないかと。</p>	1件	<p>道路運送法上の課題も多いことから、現時点で計画に反映することはできませんが、地域や企業等との連携を進める中で、検討して参りたいと考えます。（P83 他）</p>
II 現・萱原線（新・甲良線）の再編について（P67）			
1	<p>路線バス再編後、金屋橋で愛のりタクシーとバスを乗り換えることになるが、待合停留所として適切でないと思われる。特に夜間は街灯や人気もなく危険である。</p> <p>一方、金屋橋から近い富之尾は、約 100 世帯ほどの集落であり、高校生など河瀬駅方面へのバス利用者も多い。富の尾停留所は、建物内にあり、集落内に位置する他、トイレもある。</p> <p>利用者の利便性、安全性を考慮し、甲良線の金屋橋（止）を富の尾（止）にしたいだけないか。</p>	1件	<p>ご指摘のとおり、金屋橋停留所に比べ、富の尾停留所の方がより安全で、利用者も多いと判断しましたことから、甲良線を富の尾止めにできるよう、計画（素案）を修正します。</p>